



とうとうわたしが肉になる日がきたのです。私が連れて行かれたところは、松阪食肉公社。いろんな人がわたしを検査しています。わたしは今まで育ててくれた但馬のお父さんやお母さん、深野のお父さんやお母さんのことを思いました。わたしは、立派な松阪牛になって、松阪肉となって、おいしく食べてもらうよう生まれてきた牛です。この食肉公社で、わたしの命が、また肉になって生まれ変わるのです。

最後に、食肉公社の人達は、わたしの頭をなでてくれました。

(川村紗智子・坂口美咲・衛藤杏奈)